



大阪府における犯罪情勢と犯罪防止に向けた取組

大阪府警察本部生活安全部
府民安全対策課長

助中 伸理



1 はじめに

大阪府警察では、運営の基本指針を

府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」を確立するための警察活動の推進と定め、自治体や事業者、地域住民等と連携・協働した「オール大阪」での安全なまちづくりを推進し、府民の安全と安心を向上させるための警察活動に取り組んでいます。

2 大阪府の概要

人口800万人を超える西日本の中心的都市である大阪府は、西に瀬戸内海へとつながる大阪湾が広がり、古くから海上交通の要衝であるとともに、17世紀以降、「天下の台所」と呼ばれるように、日本全国から米や特産物が集まる取引の中心地として栄えてきました。また、豊臣秀吉の全国統一の本拠地であった「大阪城」や、2019年に世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」等の歴史的建造物だけでなく、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)や、「食いだおれ」で有名な「ミナミ」と呼ばれる歓楽街等、人気の観光スポットが数多くあります。

現在は2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)の開催に向け、大阪市此花区にある人工島の「夢洲」において、会場の整備工事が進められています。



大阪城



仁徳天皇陵古墳
(大山古墳)
堺市提供



万博会場イメージ図
公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会提供

3 大阪府の犯罪情勢

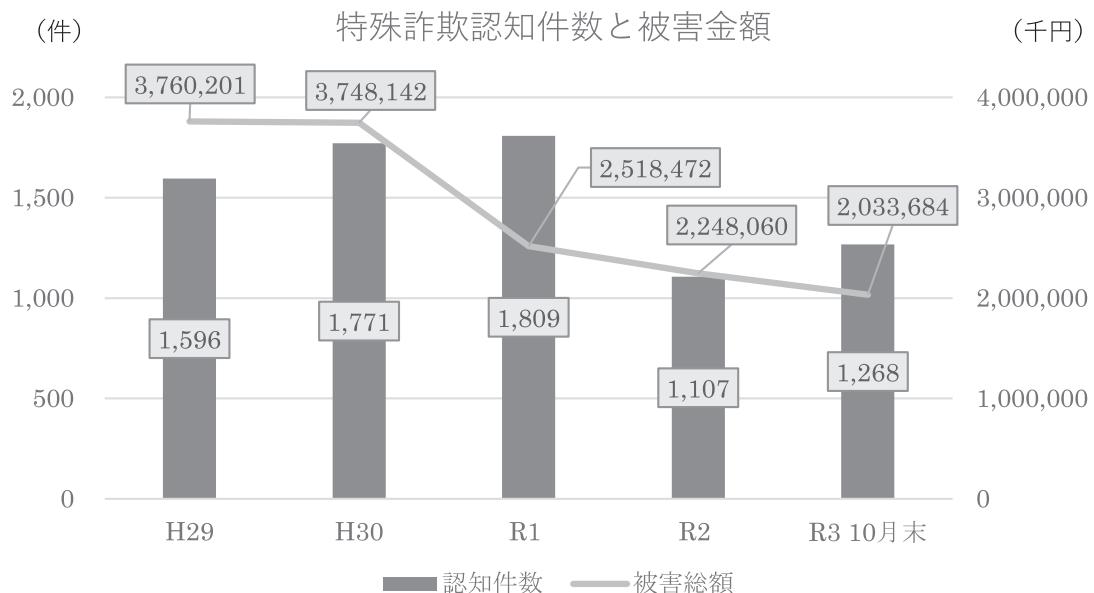
(1)刑法犯認知件数

大阪府の刑法犯認知件数は、平成13年の327,262件をピークに年々減少しており、令和3年10月末現在においても減少傾向にあるものの、子供や女性が被害者となる犯罪、ストーカーやドメスティック・バイオレンス(DV)等の人身安全関連事案、巧妙な手口で高齢者等を狙う特殊詐欺、府民の体感治安に直結する重要犯罪・重要窃盗等、府民が大きな不安を感じる犯罪への総合的な抑止対策が課題となっています。



(2)特殊詐欺被害状況

大阪府における特殊詐欺の認知件数は、令和2年は減少に転じましたが、令和3年は再び増加傾向にあり、令和3年10月末時点では、昨年中の認知件数を超えており、前年同期比においても38%増加しているなど、厳しい状況が続いているいます。

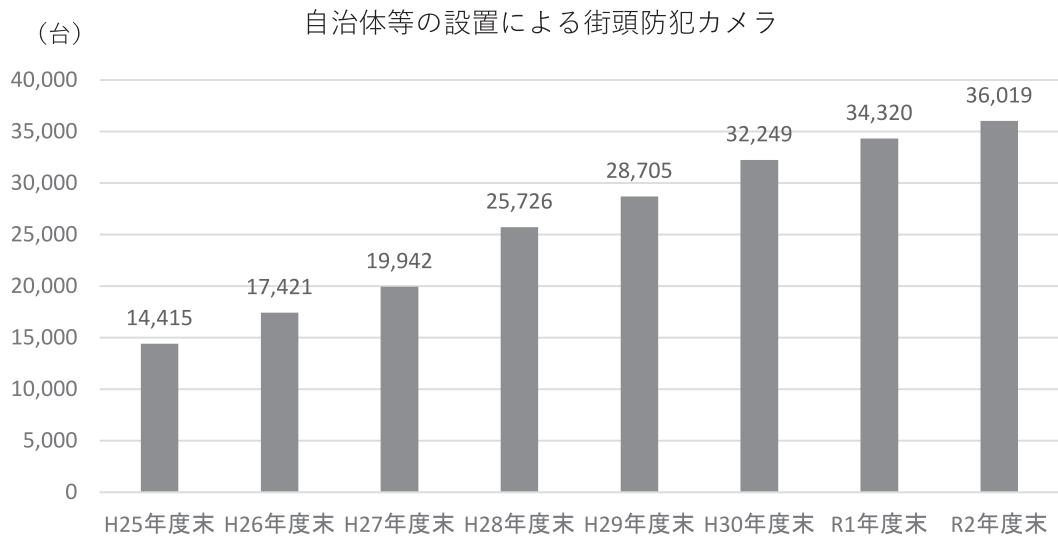


4 犯罪被害の防止に向けた取組

(1)街頭防犯カメラの整備推進

○自治体等の設置による街頭防犯カメラ

大阪府警察では、府内市町村に対し、街頭防犯カメラの設置を働き掛け、令和2年度末時点において、府内に36,019台の防犯カメラが整備されました。また、自治体に自治会等を対象とした防犯カメラ設置補助事業の実施を働き掛け、府内全域における防犯カメラの整備を推進しています。



○警察設置による街頭防犯カメラ

大阪府警察では、犯罪の予防を目的として、犯罪多発地域や歓楽街の街頭において、防犯カメラ423台を設置し運用しています（令和2年度末時点）。特に「ミナミ」などの府内の大きな歓楽街については、歓楽街総合対策の一環として、独自のカメラシステムを整備しています。このシステムについては、令和2年度から順次更新しており、夜間でも鮮明な映像を記録できるカメラや、人や乗り物の特徴を抽出し、分析時間を大幅に短縮できる映像要約のシステムを導入して、効果的な活用を行っています。



ミナミの街を見守る街頭防犯カメラ

(2)防犯性能の高い住宅の普及促進

協力団体と連携のうえ、住宅の防犯性能を審査・認定する制度を推進し、防犯性能の高い住宅の普及促進を図っています。昨年11月には、NPO法人大阪府防犯設備協会が審査・認定を行う、戸建住宅や低層マンション（3階建以下の共同住宅）を対象とした防犯優良住宅の認定制度が「大阪府防犯優良住宅認定制度」として改定・統合されました。

その中で、防犯優良住宅であることを示す認定プレート等に制度推奨機関として、新たに大阪府警察と大阪府の名義が使用されることとなりましたので、同制度の周知と同制度を活用した防犯優良住宅の更なる普及促進を図っていくこととしています。



制度の改定・統合に伴い、新しくなった防犯優良住宅認定プレート等

(3) 特殊詐欺防止対策の推進

自治体と連携し、自動録音機等の特殊詐欺対策機器の普及促進を図っている他、無人ATM等において、携帯電話で通話している高齢者等への声掛けを実施したり、ツイッター等で「受け子」に応募する者に対し、犯罪への加担を警告するメッセージを発信したりするなど、あらゆる角度から特殊詐欺抑止対策を推進しています。



自動錄音機



無人ATMにおける警戒



「受け子」に応募する者に対する 警告メッセージ

(4) 幅広い世代の防犯ボランティアへの参加促進

誰でも気軽に「ながら見守り活動」に参加できるランニングパトロールの普及を推進し、幅広い世代の防犯ボランティアへの参加を図っています。大阪府警察の「安まちアプリ(防犯情報アプリ)」には、走った距離に応じて階級が上がる、チームを作って距離を競うことができるなど、ランニングパトロールを支援する機能があり、楽しみながらランニングパトロールに参加することができます。



パトロール用Tシャツを着て ランニングを行うボランティアの方々



防犯パトロールで
安全・安心なまちづくり



いざというときに 痴漢・防犯ブザー機能

安まちアプリには、近くの人に危険を知らせることができる
痴漢撃退・防犯ブザー機能もあります

5 結びに

令和3年11月にNPO法人大阪府防犯設備協会が設立20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

同協会の皆様におかれましては、安全で信頼できる優良な防犯機器や防犯システムの普及や維持管理、広報啓発等に努められるとともに、大阪府警察等が推進する地域安全活動に参画されるなど、府民が安全で安心に暮らせるまちづくりに多大なるご貢献をいただき、深く感謝申し上げます。

大阪府警察いたしましては、今後とも同協会と緊密に連携し、「安全なまち大阪」の確立に向けた防犯施策を推進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。